

日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2011.6.16 No.27

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1
TEL 090-9973-0941
ホームページ
<http://www.jcp-yamada.jp/>

保育待機児解消 外環道計画を問う



四月の区議会議員選挙が終了してから、約一ヶ月半、六月十三日から新生区議会で初めての区議会定例会が始まりました。
私・山田耕平は、区議会議員として初めての質問を行い、選挙期間中に公約として掲げた「保育待機児の解消、認可保育所の増設」「外環道計画の白紙・撤回、外環の2地上部街路の中止」を求めました。
他に「震災対策、区内の屋根瓦等被害への助成、防災対策の見直し」「放射能汚染対策、放射能検査体制の強化」などについても、日本共産党杉並区議団として、各議員が質問を行いました。

詳細裏面へ

公約実現へ向けて 区議として初の一般質問



大勢の方が、傍聴にお越しくださいました(右)。ありがとうございました。

東電グラウンド 杉並区に売却で交渉開始

東電は福島第一原発の過酷事故を受けて、その巨額となる賠償のために各地の不動産売却を進めています。東電グラウンドもその一つとして挙げられていました。
東電グラウンドは、広域避難場所という準公共的と言ってもおかしくない施設であり、民間への払い下げなどは到底許されるものではないとの声が上がっていました。
区内には、東京電力の社宅跡地などが複数点在しており、そうした土地を区で買い上げ、福祉施設として活用することも、今後の課題になっています。

6月14日(火)、本会議中、東電グラウンドについて問われた田中区长は「たった今、情報が入りました。今朝9時の常務会において、東電グラウンドは杉並区に売却の方向で交渉を進めることに決まりました」と答弁。

また、区内に複数ある東電社宅跡地などにも言及したことから、今後の東電用地の取得などの動きを注視し、有効活用するよう取り組みを進めます。



下高井戸2丁目
広大な東電グラウンド

認可保育所増設に前向きな答弁 外環道計画は「推進」の姿勢

住民から寄せられた声 調査活動の経験を活かして

この間、外環計画により影響を受ける周辺住民の方への聞き取り、認証保育園・区保育室の実態調査、保護者との対話などに取り組んできました。

外環計画については、話を聞いたほとんどの方から「東日本大震災が発生して大変な時なのに、道路を作っている場合ではない」「被災地救援・復興に税金を使え」との声が寄せられました。

認証保育園などの無認可保育施設の実態は、大変なものでした。「いつ事故が起きてもおかしくない」状況で保育がされている園もありました。

保護者の方からは、安心して子どもを預けられる認可保育所を作ってほしいとの声が多数、寄せられました。



保護者の放射能検査申し入れ（右） 住民の声を区政に届けるのが私たちの仕事です

質問に対する区の答弁では、「認可保育所の増設について、具体的な検討を始める」との前向きな答弁がされました。また、どの保育施設にも入れない保育待機児童は71名となり、大きな問題となるもと、緊急対応として区保育室を3室増設することも示されました。

今まではない前向きな答弁がされる一方、具体的なスケジュールや計画はこれから作成するため、今後の動きを注視する必要があります。

今週の一こま

消防団に入ります！

地域の消防団に入ることになりました。荻窪消防団の第3分団です。第3分団は、6月12日に行われた消防操法大会で優勝した分団です。東日本大震災が発生し、地域共助の役割も重要になっています。

地域の役に立てるよう、全力で頑張ります！



消防団の操法大会での第3分団

保育園の保護者会役員に

保育園の保護者会役員になりました。私と息子の親子二代で、お世話になっている先生もいるので、不思議な気分です。

園と保護者が一体となって、頑張りたいと思います。

不要不急の外環道計画 ただちにストップを！



いまま残る善福寺公園のゆたかな自然環境

区長の姿勢は許されない

外環道計画について、田中区長は「杉並区として必要のある道路」と認識していると触れ、災害時にも活用できるとの答弁をしました。外環の2地上部街路については、「必要性の有無から検討する」との区側の答弁がされました。

大規模災害時に外環道のような長大な地下トンネルがどのような影響を受けるか、想定が出来ず、無責任な答弁です。

再質問では、「大規模災害時に地下トンネルを活用できるところ「絶対に大丈夫」と問い質したところ「絶対に大丈夫だとは言えない」と曖昧な答弁がされました。